

射水市道の駅周辺エリア基本構想

令和3年10月

射 水 市

目次

I 道の駅新湊周辺エリア基本構想の背景と目的	
1. 道の駅の役割-----	1
(1) 基本構想策定の背景-----	2
(2) 基本構想策定の目的-----	3
2. 関連計画との整理-----	4
II 道の駅新湊、新湊博物館及び新湊農村環境改善センターの現状と課題	
1. 各施設の現況-----	5
2. 各施設の課題-----	7
(1) 道の駅新湊	
(2) 新湊博物館	
(3) 新湊農村環境改善センター	
3. 近隣施設・競合施設についての分析-----	9
(1) 道の駅-----	9
(2) 主な観光地-----	11
(3) 特産品の販売所-----	15
(4) 宿泊施設-----	17
(5) 温浴施設-----	19
III 「道の駅カモンパーク新湊」周辺エリアの基本方針	
1. 基本方針-----	22
(1) 「道の駅カモンパーク新湊」周辺エリア全体としての現状と課題-----	22
(2) 基本方針-----	23
2. ゾーンごとに求めるコンセプト-----	25
3. 各ゾーン別活用例(イメージ)-----	29
IV 財源調達手法・事業手法の検討	
1. 管理・運営の計画-----	34
(1) 事業手法-----	34
(2) 財源調達手法-----	35
V 事業スケジュール	
1. 施設別の事業スケジュール-----	39
VI 参考	
1. 現状(エリア全体図)-----	41
2. 整備1(エリア全体図)イメージ-----	42
3. 整備2(エリア全体図)イメージ-----	43
4. イメージパース-----	44

I 道の駅新湊周辺エリア基本構想の背景と目的

1. 道の駅の役割

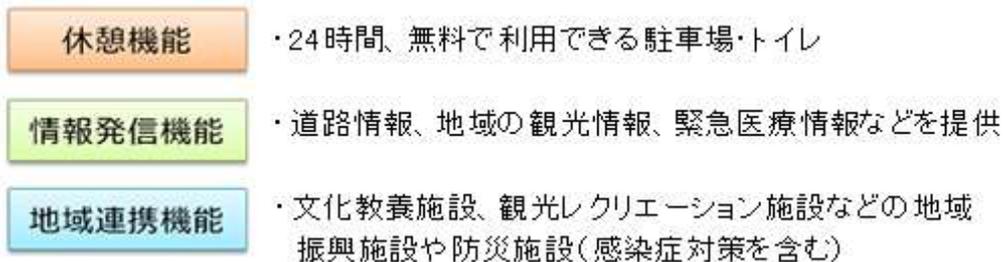
「道の駅」は、道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、そして「道の駅」をきっかけに町と町とが手を結び活力ある地域づくりを共に行うための「地域の連携機能」、の3つの機能を併せ持つ休憩施設です。

◀「道の駅」の目的と機能▶

○目的

- ・道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供
- ・地域の振興や安全の確保に寄与

○基本コンセプト



◀「道の駅」の施設配置▶



(1) 基本構想策定の背景

旧建設省により整備が進められた「道の駅」は、「通過する道路利用者のサービス提供の場(第1ステージ)」として全国各地に広がり、運転者等の疲労防止や道路交通情報の提供など、くつろげる「休憩施設」として利用されてきました。

平成25年からは、地域の拠点機能の強化とネットワーク化を重視し、「道の駅自体が目的地(第2ステージ)」となることを目指してきました。

令和2年から令和7年までを第3ステージとして、「地方創生・観光を加速する拠点」へ＋「ネットワーク化で活力ある地域デザインにも貢献」を掲げ、民間企業や道路関係団体等とのつながりを面的に広げることにより、元気に稼ぐ地域経営の拠点としての力を高めるとともに、新たな魅力を持つ地域づくりに貢献するとしています。

本市においても、道の駅には地方創生・観光の拠点としての役割を果たすことが求められます。



■出典：国土交通省資料より

(2) 基本構想策定の目的

道の駅カモンパーク新湊は、国道 8 号と国道 472 号の交差点に平成 10 年 9 月にオープンしました。交通の利便性が高いことなどから、利用客は年間約 70 万人に及び、これまで射水市の魅力・情報の発信に努めてきました。

一方で、建築後 22 年が経過し、施設の劣化が著しいことから、早急に施設の修繕に取り組む必要があります。

この道の駅カモンパーク新湊に隣接して、新湊博物館及び新湊農村環境改善センターが立地していますが、それぞれの施設においても劣化や利用者の減少などの課題を抱えています。

このことから、本方針では、国において提示している道の駅第 3 ステージのコンセプト「『地方創生・観光を加速する拠点』へ」を踏まえながら、道の駅カモンパーク新湊の修繕計画の検討に合わせ、新湊博物館及び新湊農村環境改善センターも含めた道の駅周辺エリアの方向性や将来求められる機能等、基本的な方針について整理をします。

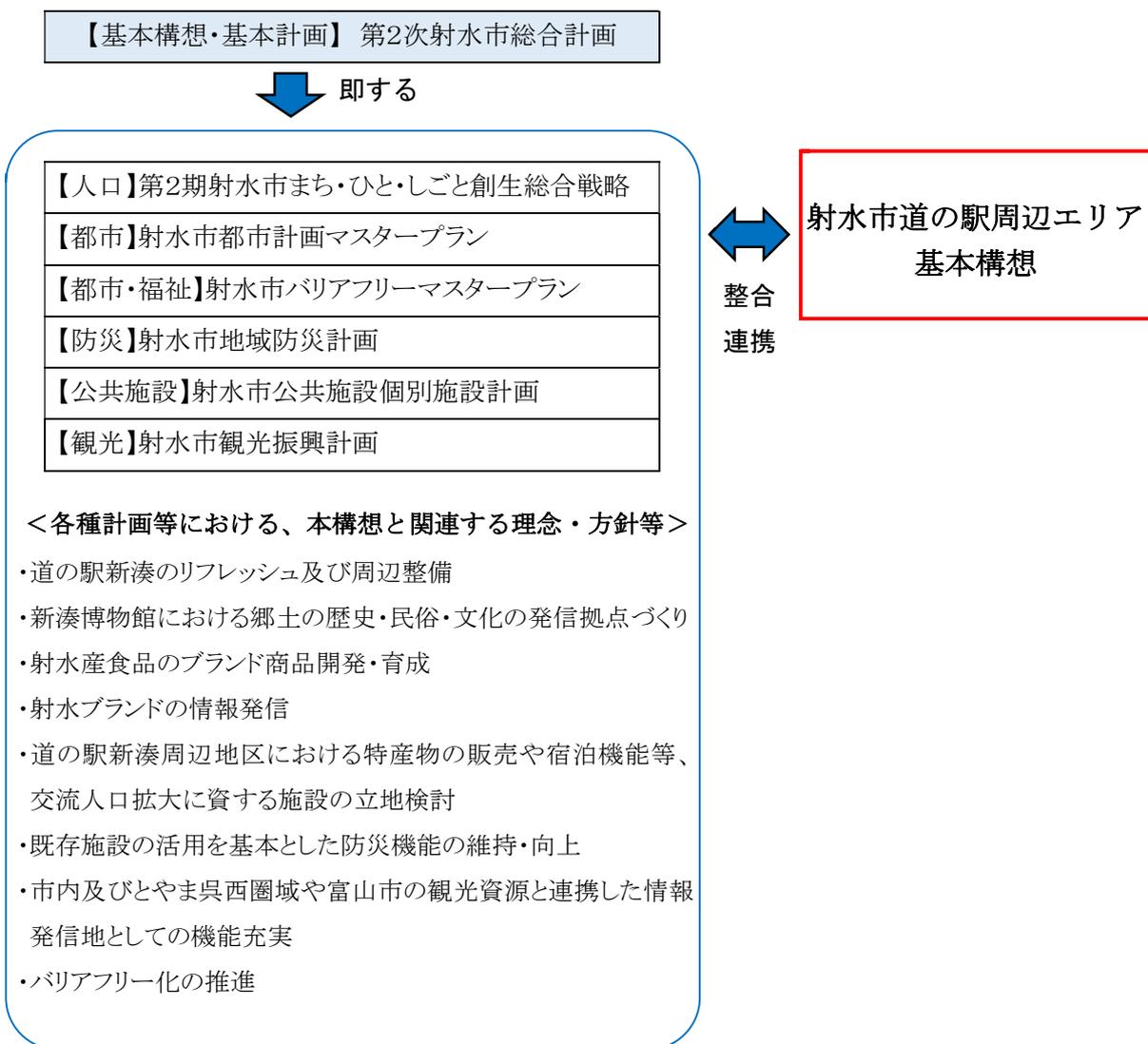


※ 本計画における「道の駅新湊」とは、本市が所管する道の駅新湊の建物部分のみを指します。また、「道の駅カモンパーク新湊」とは、国土交通省が所管する一般駐車場・大型車駐車場・備蓄倉庫・道路情報館を含む道の駅全体のことを指します。

※ 本計画における「道の駅新湊周辺エリア」とは、道の駅カモンパーク新湊に加え、新湊博物館、測量庭園、新湊農村環境改善センターを包含したエリアを指します。

2. 関連計画との整理

本構想では、道の駅周辺エリアの方向性や将来求められる機能等の基本的な方針を定めるにあたり、第2次射水市総合計画や総合計画に即して策定された各種計画等と整合・連携を図っています。



II 道の駅新湊、新湊博物館及び新湊農村環境改善センターの現状と課題

1. 各施設の現況

道の駅カモンパーク新湊は、南側に国道8号、東側に国道472号が接する幹線道路沿いに立地しています。国道8号に面して国土交通省エリアの一般駐車場・大型車駐車場・備蓄倉庫・道路情報館があり、道の駅新湊、新湊博物館、新湊農村環境改善センター、測量庭園が隣接しています。

また、徒歩圏内には、温浴施設が立地しています。



■市有施設の概要

項目	道の駅新湊	新湊博物館	新湊農村環境改善センター
外観写真			
所在地	鏡宮 296 番地	鏡宮 299 番地	鏡宮 301 番地
整備年	平成 10 年	平成 10 年	平成 8 年
延床面積	978.96 m ²	1,993.60 m ²	951.53 m ²
構造	鉄筋コンクリート造 平屋建	鉄筋コンクリート造 平屋建	鉄筋コンクリート造 平屋建
施設内容	休憩施設、トイレ、 物産販売、レストラン、 一般駐車場、大型車駐車場、 道路情報館	展示室 1、展示室 2、企画 展示室、収蔵庫、研究室 ガイダンスルーム、ミュー ジウムショップ、測量庭園	洋室会議室、和室研修室、陶 芸創作室、伝統芸能伝習室、 農業情報室、営農相談室
開館時間	7:00~21:00	9:00~17:00	9:00~21:00
休館日	年中無休	毎週火曜日、休日の翌日、 年末年始	毎週火曜日、年末年始

■過去5年間の入館者数

項目	道の駅新湊	新湊博物館	新湊農村環境改善センター
H28	739,988 人	7,046 人	20,634 人
H29	698,722 人	8,051 人	20,892 人
H30	715,727 人	7,237 人	21,938 人
R 元	702,268 人	6,040 人	19,785 人
R2	498,599 人	4,487 人	10,888 人

2. 各施設の課題

(1) 道の駅新湊

1) 建物・設備の課題

- ・ 建築後 22 年が経過し、令和 3 年度に空調設備の改修を実施するものの、建物及び設備の劣化が著しく、全体的に照明も暗い。

2) 運営上の課題

- ・ 国道 8 号（高架橋）や国道 472 号からの視認性が低く、敷地内へのアクセス経路も分かりづらい。
- ・ 入口扉が自動化されておらず、高齢者、障がい者や子どもへの配慮が不足している（バリアフリー化が必要）
- ・ 移転した観光協会の事務所部分等、有効活用が図られていないスペースがあるほか、レストラン入口の視認性が低い、一部利用できない出入口があるなど、施設利用者にとって使いやすいレイアウトとは言えず、閉塞感がある。
- ・ 道の駅新湊と新湊博物館の間にある芝生広場を活用できていない。

(2) 新湊博物館

1) 建物・設備の課題

- ・ 建物は平成 10 年（1998 年）の建築であり、平成 29 年度に空調設備の一部を更新したものの、施設、外構及び空調・照明等の設備の劣化が進んでいる。

2) 運営上の課題

- ・ 入館者数は、工夫を凝らした企画展の開催により増減はあるものの、平成 19 年度をピークに漸減傾向にある。
- ・ 道の駅から博物館への動線が弱いため、道の駅の来場者を博物館に誘導できていない。
- ・ 常設展示は新湊地区が中心であり、射水市全域を網羅した常設展示にすることは、現状では難しい。
- ・ 道の駅と同一の敷地内に統一感のあるデザインで建築されているため、博物館であることを認識しづらい。
- ・ 市町村合併以降、旧射水郡内からの資料の寄贈・寄託が増加しており、収蔵スペースが不足している。
- ・ 館内は、入館者が常設展示室と企画展示室を自由に行き来できる構造となっており、一般的な博物館のように常設展料金と企画展料金を区分することができない。

(3) 新湊農村環境改善センター

1) 建物・設備の課題

- ・ 建築後 24 年が経過し、今後、劣化による修繕費の増加が見込まれる。
- ・ 屋根の構造上、豪雪に耐えられない状態となっている。

2) 運営上の課題

- ・ 農業者団体の利用が減少しており、施設の設置意義が低下している。
- ・ 主に一般利用者が貸室として利用しており、同様の貸室機能を有している施設との統廃合を含めた在り方を検討する必要がある。

3. 近隣施設・競合施設についての分析

(1) 道の駅

カモンパーク新湊を中心に半日から1日で回れる範囲との道の駅の分布を見ると、呉西から能登半島にかけて多くわかります。

カモンパーク新湊周辺には比較的道の駅が少なく、半径「万葉の里高岡」の2か所のみとなっています。富山湾側のや休憩場所としてカモンパーク新湊の利用が期待されま

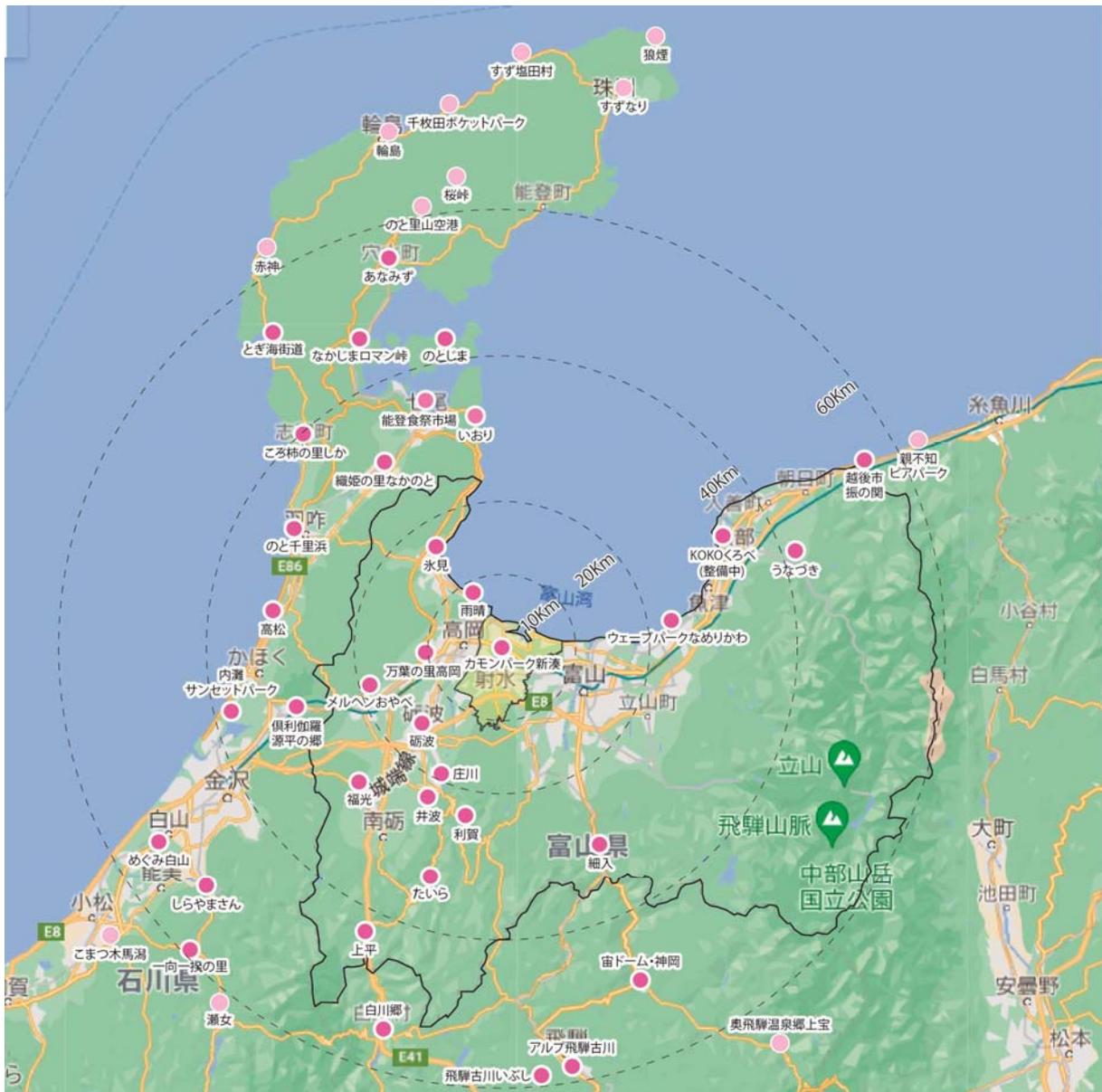
また、富山市エリアに着目すると、道の駅が少なく、東西南北をつなぐ国道41号の利用者にとって道の駅新湊の利便

して、半径60km圏内

10km圏内では「雨晴」観光地への出発地点

をつなぐ国道8号や性は高いと推察され

■県内・近隣の道の駅分布(ベース地図：Google マップ)



■カモンパーク新湊から60km圏内の道の駅

県	名称	所在地	備考
富山	カモンパーク新湊	富山県射水市鏡宮 296	
	万葉の里高岡	富山県高岡市蜂ヶ島 131 番地 1	銅器、高岡コロッケ
	雨晴	富山県高岡市太田 24 番地 74	景観(雨晴海岸)
	砺波	富山県砺波市宮沢町 3-9	チューリップグッズ
	庄川	富山県砺波市庄川町示野 437	ゆず加工品
	氷見	富山県氷見市北大町 25-5	番屋街、総湯
	メルヘンおやべ	富山県小矢部市桜町 1535 番地 1	ドッグラン、バラの足湯
	細入	富山県富山市片掛 3-5	ラッキョウ、山菜
	ウェーブパークなめりかわ	富山県滑川市中川原 410	ホタルイカ
	利賀	富山県南砺市利賀村高沼下北山 43-7	※移転準備中
	井波	富山県南砺市北川 730	木彫り
	福光	富山県南砺市中ノ江 21	農産物直売
	たいら	富山県南砺市東中江 215	和紙、そば
	上平	富山県南砺市西赤尾町 72-1	赤かぶ、五箇山豆腐
	KOKO くろべ	富山県黒部市堀切 925 番地 1	※整備中
	うなづき	富山県黒部市宇奈月町下立 687	地ビール
石川	高松	石川県かほく市ニツ屋フ 16-3	景観(サンセット)
	いおり	石川県七尾市庵町笹ヶ谷内 3 番地 1	景観(富山湾と立山)
	ころ柿の里しか	石川県羽咋郡志賀町末吉新保向 10	農産物直売
	倶利伽羅源平の郷	石川県河北郡津幡町字竹橋西 270	宿泊施設、スパ
	内灘サンセットパーク	石川県河北郡内灘町字大学 1-4-1	景観(海岸)
	能登食祭市場	石川県七尾市府中町員外 13-1	海産物
	のと千里浜	石川県羽咋市千里浜町夕1番地62	景観(千里浜)
	織姫の里なかのと	石川県鹿島郡中能登町井田ぬ部 10 番地 1	ドッグラン
	のとじま	石川県七尾市能登島向田町 122-14	ガラス美術館
	一向一揆の里	石川県白山市出合町甲 36	そば、とちもち
	しらやまさん	石川県能美市和佐谷町 200 番地	油揚げ
	なかじまロマン峠	石川県七尾市中島町中島二部 1 番地 19	中島菜
	とぎ海街道	石川県羽咋郡志賀町富来領家町夕2-11	世界一長いベンチ
	あなみず	石川県鳳珠郡穴水町字大町子 41-6	のと鉄道駅舎併設
	めぐみ白山	石川県白山市宮丸町 2183 番地	ドッグラン
	新潟	越後市振の関	新潟県糸魚川市市振 1035 番地 50
岐阜	宙ドーム・神岡	岐阜県飛騨市神岡町夕陽ヶ丘 6	宇宙科学館
	アルプ飛騨古川	岐阜県飛騨市古川町上町 1348-2	景観(乗鞍岳)

飛騨古川いぶし	岐阜県飛騨市古川町畦畑 2173-1	名水、木工製品
白川郷	岐阜県大野郡白川村飯島 411	合掌ミュージアム

(2) 主な観光地

富山県内の観光地等入込数ランキング上位 10 施設の中には、本市の海王丸パーク、県民公園太閤山ランド、道の駅カモンパーク新湊の 3 施設がランクインしており、上記 3 施設は、観光客以外にも子育て世帯の利用も多く、子どもと楽しめる施設として人気があります。

射水市は、富山県の中心に位置し、北陸自動車道や交通量の多い国道 8 号・国道 472 号といった幹線道路が通っており、県内人気観光地へのアクセスが良いため、車を利用する観光客ニーズを見込むことができます。

市内には、県内の主要な観光地である海王丸パークの他、日本のベニスといわれる内川、日本海側最大級の斜張橋である新湊大橋など、魅力的な景観を持つ観光スポットがあります。

■令和元年観光地等入込数ランキング(延べ数)

(単位:人)

順位	名称	市町村	R1 年入込数	30 年入込数	対前年比
1	富岩運河環水公園	富山市	1,662,000	2,256,000	▲26.3%
2	氷見漁港場外市場ひみ番屋街(総湯含む)	氷見市	1,224,700	1,205,700	1.6%
3	海王丸パーク	射水市	1,189,400	1,103,000	7.8%
4	道の駅福光	南砺市	1,117,729	1,112,324	0.5%
5	立山黒部アルペンルート	立山町	882,872	980,809	▲10.0%
6	高岡古城公園	高岡市	854,500	895,500	▲4.6%
7	県民公園太閤山ランド	射水市	793,336	784,088	1.2%
8	道の駅カモンパーク新湊	射水市	714,250	702,114	1.7%
9	桜が池	南砺市	662,642	679,954	▲2.5%
10	五箇山	南砺市	661,000	670,000	▲1.3%

■令和元年市町村別四半期別入込数(延べ数)

(単位:千人)

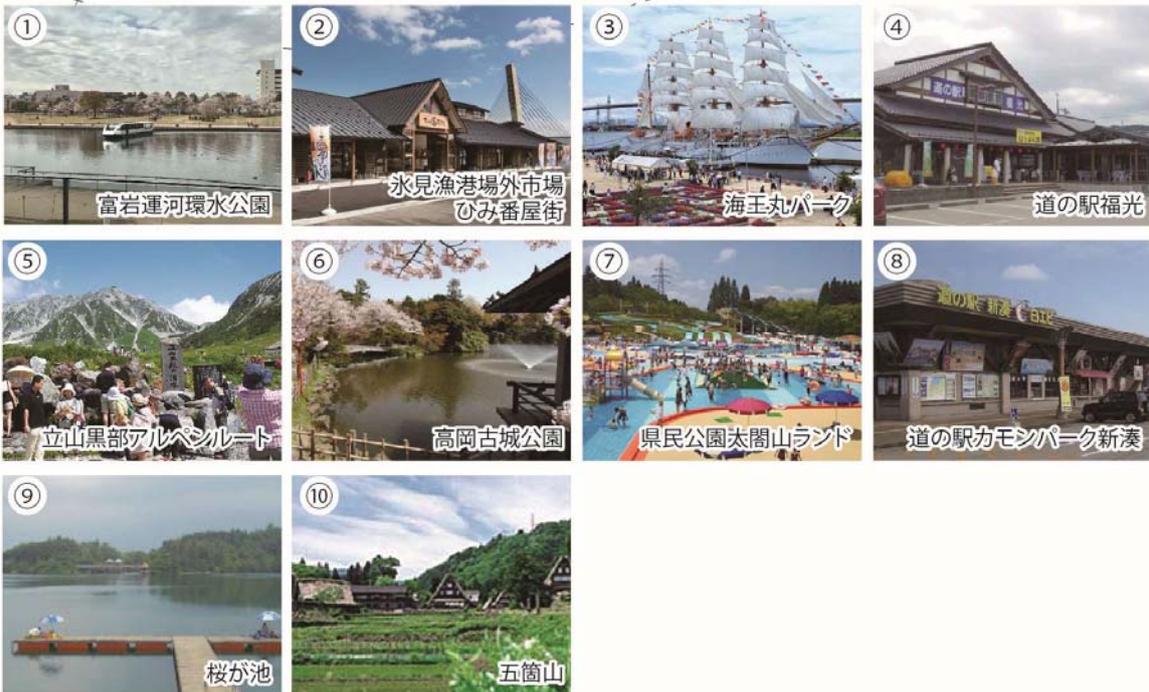
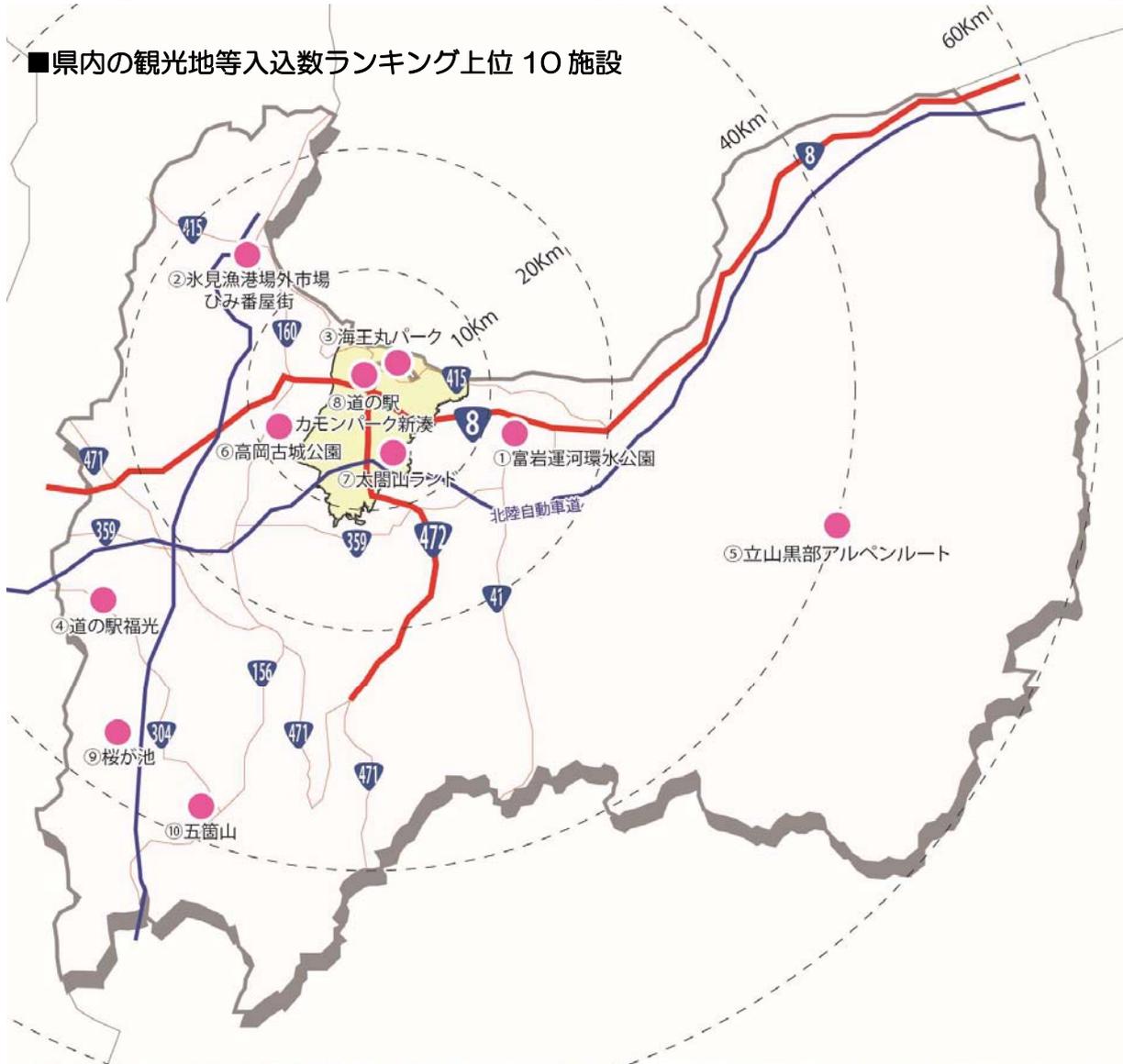
市町村	1~3 月	4~6 月	7~9 月	10~12 月	合計
富山市	1,365	2,081	2,329	1,305	7,080
高岡市	424	1,256	1,216	818	3,714
射水市	694	1,245	1,357	794	4,090
魚津市	224	400	416	245	1,285
氷見市	379	576	580	474	2,009
滑川市	34	98	144	60	336
黒部市	445	850	942	649	2,886
砺波市	170	835	292	375	1,672
南砺市	703	1,010	1,043	911	3,667
小矢部市	177	412	320	256	1,165
上市町	107	184	181	111	583
立山町	88	632	671	304	1,695
入善町	120	118	127	87	452
朝日町	38	121	151	57	367

※入込数の公表が了承された観光地点・イベントのみ計上

■令和元年富山県観光客入込数等より((公社)とやま観光推進機構)一部抜粋

道の駅カモンパーク新湊は、市内の主な観光地の中間地点に位置していることや幹線道

■県内の観光地等入込数ランキング上位 10 施設



■市内の主な観光スポット



■周辺の主な観光施設・スポット一覧

市町村	NO.	名称	備考
	①	川の駅新湊	曳山展示、特産品販売、カフェレストラン
	②	新湊きつとときと市場	鮮魚やお土産販売、レストラン
	③	昼セリ(新湊漁港)	昼セリ見学
	④	内川周辺	内川に架かる個性的な橋群
	⑤	海王丸パーク	海王丸係留、ピクニック広場、展望広場
	⑥	新湊大橋	日本海最大の斜張橋、県内で最も高い建築物
	⑦	海老江海浜公園	市内唯一の海水浴場
	⑧	クロスベイ新湊	複合交流施設、飲食店、休憩スペース、コンベンションホール、射水市観光協会
	⑨	大島絵本館	絵本1万冊、絵本創作教室、ワークショップ、絵本原画展
	⑩	陶房「匠の里」	手軽に陶芸を楽しめる、伝統の技が光る作品販売
	⑪	県民公園太閤山ランド	県内最大の都市公園、プール広場、こどもみらい館、展望台、バーベキューコーナー
	⑫	竹内源造記念館	左官の名工・竹内源造の鍍絵作品展示

(3) 特産品の販売所

射水市は、「海」「野」「里山」の地形環境をバランス良く有しており、多種多様な産物を“食”のブランドとして売り出しています。

農産物は主穀物を中心に生産しており、近年は野菜、花木や果樹等の生産も広がりを見せています。また、本市は県内有数のタケノコの産地として知られており、豊かな土壌で育つ、柔らかくアクが少ないタケノコは春の味覚として人気となっています。

水産物は四季を通じて多様な漁法で漁が行われており、富山湾で漁獲されるほとんどの魚種が水揚げされます。また、養殖漁業では、天然では幻と化したサクラマスが生産され、“いみずサクラマス”としてブランド化が進められています。

現在は、市内の農林水産物を一か所で購入できる直売所等がなく、“食”から射水ブランドを発信する拠点の整備を検討する必要があります。

■市内の主な特産品一覧

区分		品目
農産物	主穀物	米、大麦、大豆   
	野菜	こまつな、しろねぎ、えだまめ、いちご、 キャベツ、へちま、ブロッコリー       
	果樹	梨、水島柿、りんご、ブドウ、桃     
	生花	小菊、スプレーストック  
その他	タケノコ、ジビエ、竹炭   	
水産物	ホタルイカ、シロエビ、ベニズワイガニ、ブリ、甘えび、 ズワイガニ、カレイ、ワタリガニ、サクラマス、鮎    	
加工品	海産物加工品(ますの寿司、干物、かまぼこ、黒作り等)、 農産物加工品(ジャム、ジュース)、タケノコ水煮、寒餅、味噌等        	

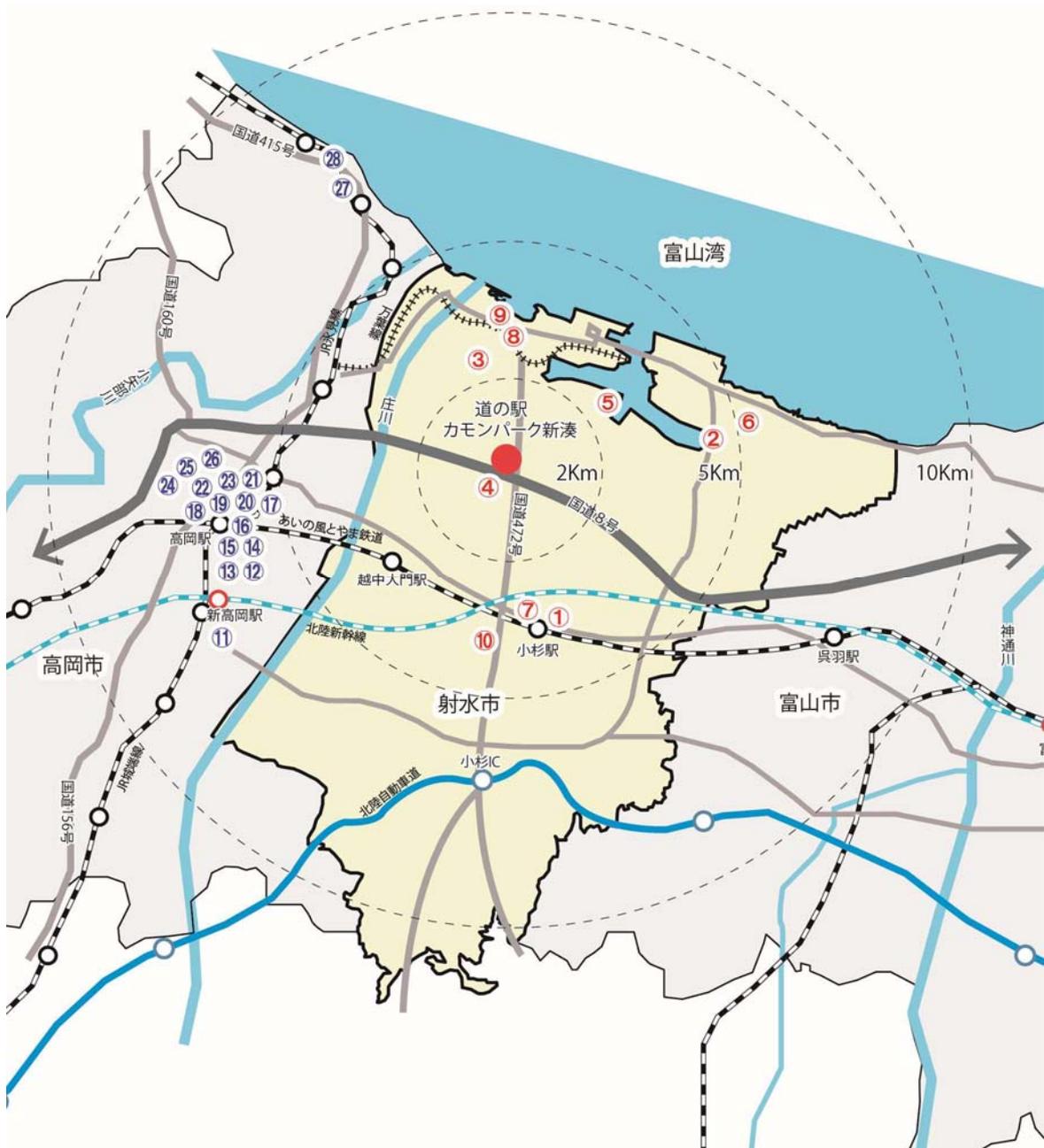
(4) 宿泊施設

道の駅カモンパーク新湊周辺から 10km 圏内にある宿泊施設は下図の通りで、宿泊施設の多くは市北部に立地しており、それらは小規模な宿泊施設です。

市内全域で見ると 50 室以下の宿泊施設が多く、観光客は高岡市や富山市の宿泊施設へと流れています。本市には集客力のある観光スポットが多くあるにもかかわらず、宿泊施設が不足しているため、観光客の本市滞在時間は短く、経済効果も限定的であると推察されます。

市内の観光地への玄関口としてインバウンド¹ニーズも考慮した観光客の受入基盤整備を検討する必要があります。

■10km 圏内の宿泊施設



¹ 外から中へ入りこむこと、特に外国人の訪日旅行のこと。訪日外国人旅行。

■道の駅カモンパーク新湊 10Km 圏内の宿泊施設一覧

市町村	NO.	名称	所在地	備考
射水市	①	スーパーホテル富山・射水	三ヶ 3967-1	101 室
	②	青山 有磯亭	七美中野 193	46 室 最大 60 人
	③	第一イン新湊	善光寺 18-4	36 室 最大 56 人
	④	職人の宿 あすか食堂	布目 217	35 室 最大 62 人
	⑤	富山新港港湾労働者福祉センター	奈呉の江 6-1	13 室 最大 30 人
	⑥	民宿 彦五郎	海老江 3	8 室 最大 18 人
	⑦	松原屋旅館	三ヶ 3971-1	7 室 最大 15 人
	⑧	内川の家 奈呉	放生津町 17-5	3 室 最大 10 人
	⑨	水辺の民家ホテル カモメとウミネコ	放生津町 19-18	1 棟貸し 2 棟
	⑩	柿の家さかえ	橋下条 1547-1	1 棟貸し
高岡市	⑪	東横イン新高岡駅新幹線南口	下黒田 3015	245 室
	⑫	スーパーホテル高岡駅南	駅南 1-8-36	94 室
	⑬	ホテルセブンセブン高岡	駅南 5-2-7	95 室
	⑭	ホテルクラウンヒルズ高岡	駅南 5-3-3	83 室
	⑮	スマイルホテル高岡駅前	駅南 5-7-13	82 室
	⑯	アパホテル〈高岡駅前〉	下関町 6 番 20 号	373 室
	⑰	ホテルルートイン高岡駅前	下関町 4 番 63 号	207 室
	⑱	高岡マンテンホテル駅前	末広町 1-8	233 室
	⑲	あさひシティーインホテル	下関町 1-34	20 室
	⑳	ホテルニューオータニ高岡	新横町 1 番地	80 室
	㉑	大佛旅館	大仏町 1276	20 室
	㉒	Travelers' house ROOTs	末広町 14-7	19 室
	㉓	角久旅館	大手町 12-11	15 室
	㉔	民家ホテル「金ノ三寸」	金屋町 4-12	2 室
	㉕	さまのこハウス	金屋町 3-10	3 室
	㉖	アパホテル〈高岡丸の内〉	丸の内 2-1	150 室
	㉗	雨晴温泉 磯はなび	太田 88-1	50 室
	㉘	海辺の宿 女岩荘	太田雨晴海岸 4764-4	9 室

(5) 温浴施設

射水市内には古くから親しまれている銭湯やスーパー銭湯といった温浴施設が点在しています。

全国的には道の駅に隣接する温浴施設は多くあり、道の駅カモンパーク新湊の近隣には北陸エリアで泉質8年連続1位の天然温泉があることから、温浴施設との相乗効果により魅力向上を見込むことができます。

■市内の温浴施設



■市内の温浴施設一覧

NO.	名称	住所	備考
①	天然温泉 海王	鏡宮 361	
②	太閤山温泉 太閤の湯	黒河 5424	
③	金崎湯	中新湊 2-8	銭湯
④	越の湯	八幡町 3-10-1	銭湯
⑤	さんがの湯	立町 13-22	銭湯
⑥	大門コミュニティセンター	串田 1395	一般公衆浴場

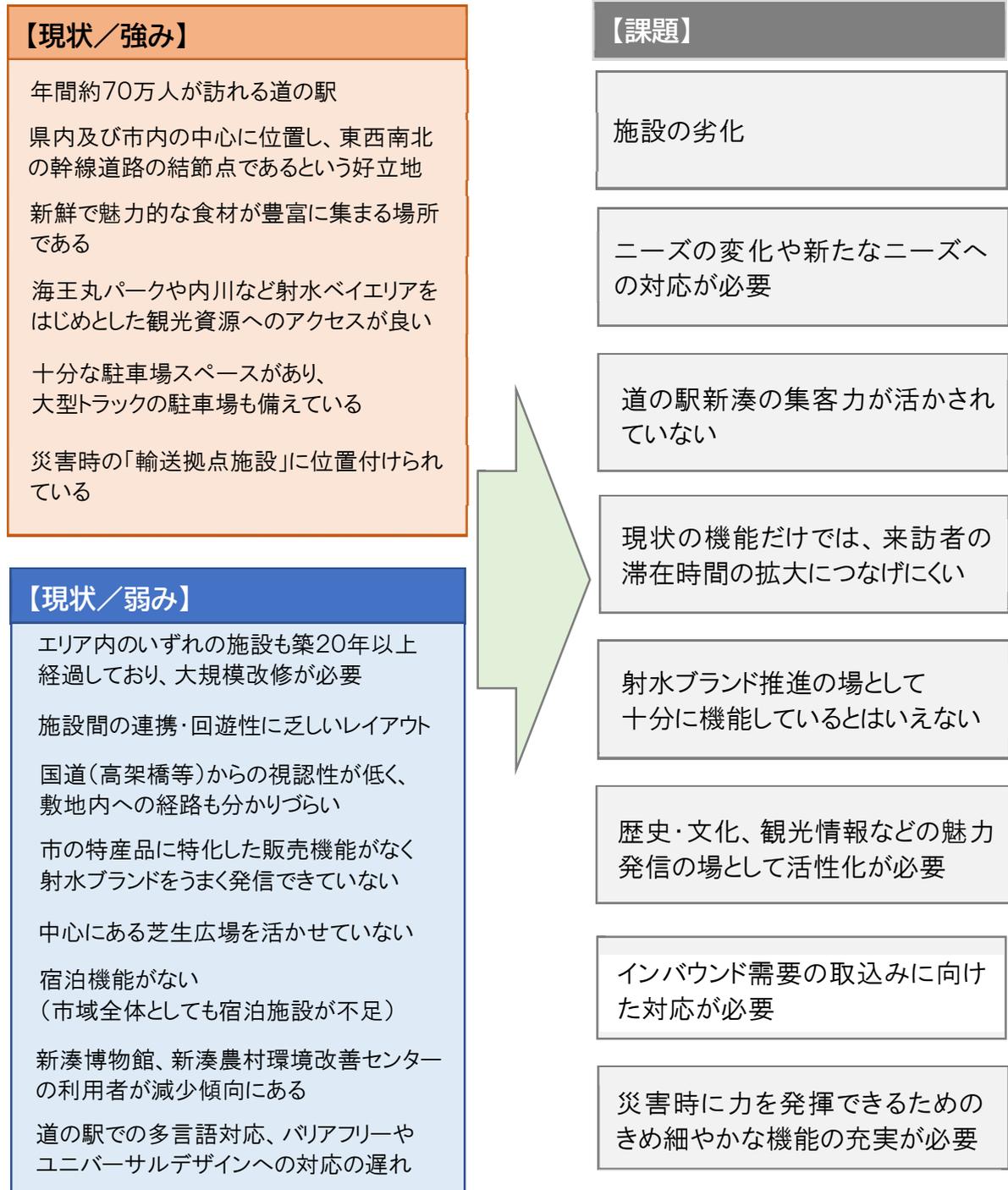
III 「道の駅カモンパーク新湊」周辺エリアの基本方針

1. 基本方針

(1) 「道の駅カモンパーク新湊」周辺エリア全体としての現状と課題

「Ⅱ 道の駅新湊、新湊博物館及び新湊農村環境改善センターの現状と課題」では、各施設の現状と課題及び近隣施設・競合施設について分析・整理を行いました。

基本方針を定めるに当たり、エリアの強み・弱みを洗い出した上で、エリアの課題を整理します。



(2) 基本方針

これまでの考察を踏まえ、基本方針を以下のとおり設定します。

基本方針1	エリアの魅力を高め、滞在時間の拡大と更なる賑わいの創出を図る
-------	--------------------------------

道の駅周辺エリア内の3施設は、いずれも大規模改修の時期が間近に迫っていますが、特に、道の駅新湊は年間約70万人が訪れることから、早期にリフレッシュ改修を行います。また、現状においては道の駅新湊の集客力が他の施設の集客に生かされていないことから、動線の見直しによる回遊性の向上を図り、他の施設への誘客及びエリア全体での滞在時間の拡大に繋げるため、道の駅の改修と同時に外構部分の見直しも検討します。

今後の訪日外国人の増加によるインバウンド需要の拡大を考慮すると、市内の宿泊施設の数には不足しているといえます。また、令和4年に供用開始を予定している（仮称）射水市フットボールセンターの合宿需要の受け皿としても宿泊施設の需要は高いと考えます。宿泊施設の不足解消と道の駅周辺エリアの機能強化を一举に図るためにも、エリア内に宿泊施設を誘致することが望ましいと考えます。さらには、近隣には温浴施設があることから宿泊施設との相乗効果による賑わい創出が期待できます。

新湊農村環境改善センターについては、転用も含め、民間活力の導入による新たな利活用方法を検討し、エリアの賑わい創出に繋がります。

また、今後の施設の在り方の検討の中で、必要に応じて敷地の拡大や周辺道路の移設も検討します。

基本方針2	射水ブランド推進の場として、地域経済への波及効果を高める
-------	------------------------------

道の駅周辺エリア全体を射水ブランド推進の場として位置づけ、射水の美味しいものとの出会いを創出し、射水の魅力を発信することで、本市の“ファン”の増加に繋げ、地域経済の活性化を目指します。また、地場産品の魅力が体感できるような販売機能や展示機能の整備を検討します。さらに、6次産業化²推進の視点から、物販スペースにおける地場産品のテストマーケティングなどを通じて、市内事業者等の販路拡大や商品開発支援に繋がります。

基本方針3	射水バイエリア・内川周辺の玄関口として、周辺観光への誘導を図る
-------	---------------------------------

道の駅周辺エリアは、富山市と高岡市の間に位置し、幹線道路沿いに立地しているという好条件にあります。また、本市は、県内有数の観光客数を誇る射水バイエリア・内川周辺を有しています。このことから、道の駅周辺エリアは、地理的優位性を生かした、市内観光の玄関口にふさわしい役割を果たすことが求められています。

特に、道の駅新湊においては、来訪者や観光客に本市の魅力を分かりやすく伝えるとと

² 1次産業としての農林漁業、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業と総合的かつ一体的な推進を図り、農山漁村の豊かな地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組。

もに、スムーズに観光スポットまでアクセスできるよう、リニューアル時には、施設内のデザイン、レイアウトの工夫やICTの活用により、情報発信機能の強化を図ります。加えて、訪日外国人の誘客によるインバウンドニーズ獲得と好循環を創出するため、多言語対応環境の整備なども検討します。

基本方針4

射水の歴史や文化芸術の集約と発信の場として、更なる磨き上げを図る

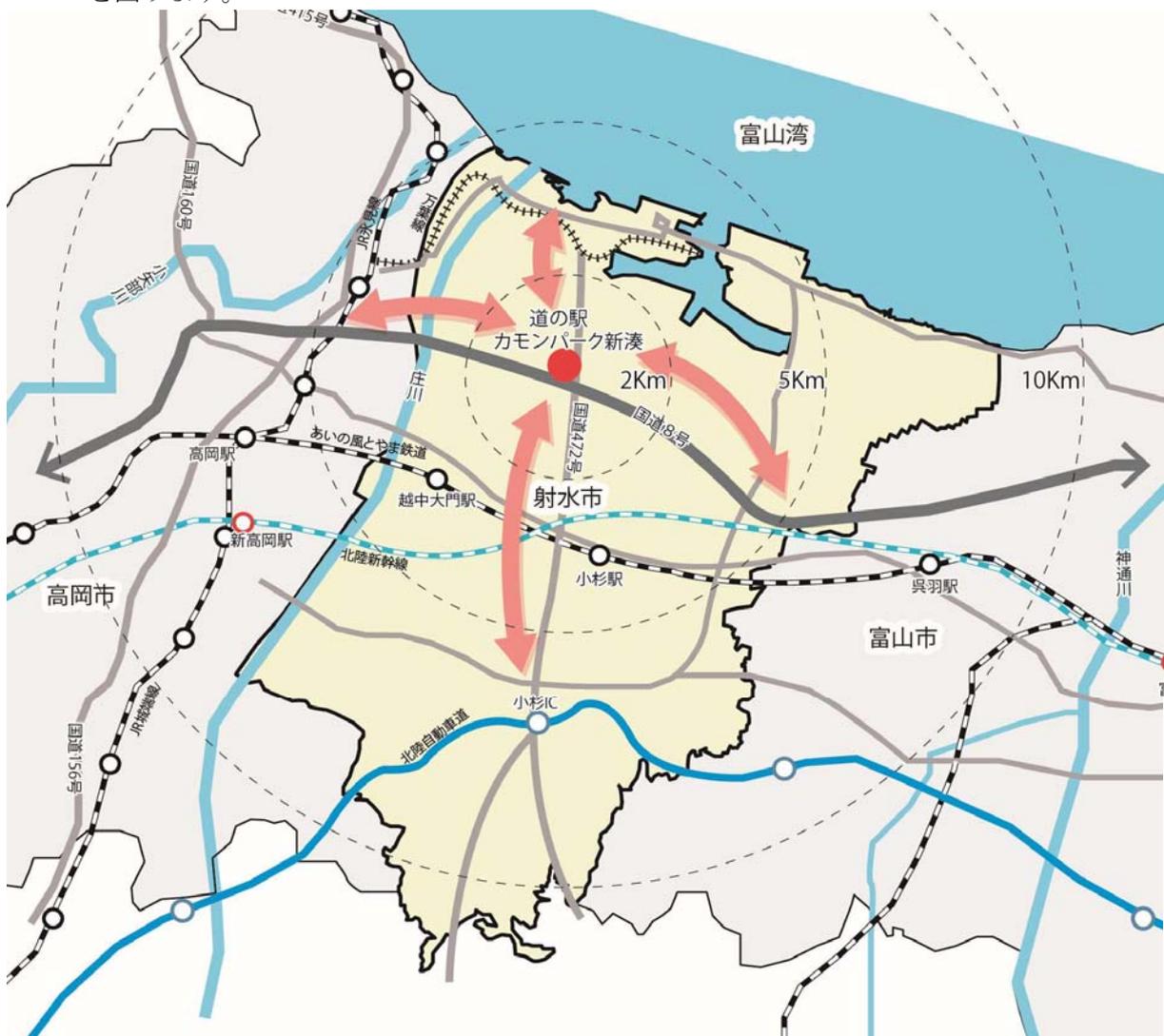
新湊博物館を射水の歴史や文化芸術の発信拠点として位置づけ、市内の文化財や美術工芸品等の展覧会を開催するとともに、幅広い層に親しまれる博物館となるよう機能強化を図ります。

基本方針5

災害に強いまちづくりを進めるため、防災拠点としての機能を強化する

災害時の後方支援拠点及び支援活動場所として活用します。

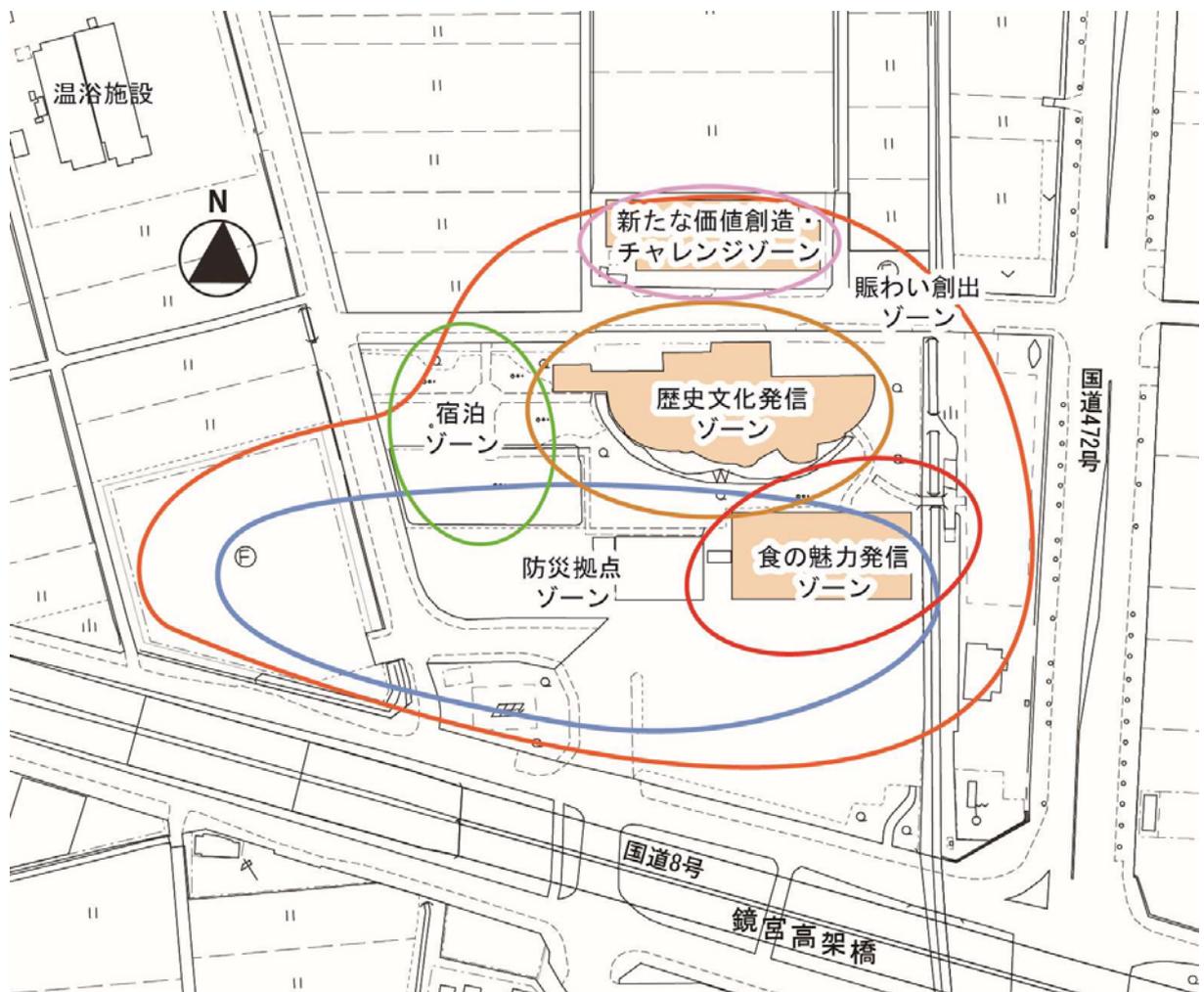
また、平常時・災害時のいずれにおいても、様々な来訪者に対応した安全安心な施設となるよう、バリアフリー化の促進、ユニバーサルデザインの導入や子ども連れ環境の整備を図ります。



2 ゾーンごとに求めるコンセプト

基本方針についてより具体的な検討を行うため、目的ごとに、エリア内に6つのゾーンを設定し、それぞれのゾーンに求めるコンセプトを整理します。

<p>◎食の魅力発信ゾーン 【核となる施設】 道の駅新湊</p>	<p>◎賑わい創出ゾーン エリア全体</p>
<p>◎歴史文化発信ゾーン 【核となる施設】 新湊博物館</p>	
<p>◎新たな価値創造・チャレンジゾーン 【核となる施設】 新湊農村環境改善センター</p>	
<p>◎宿泊ゾーン 【核となる施設】 宿泊施設（誘致新設）</p>	
<p>◎防災拠点 【核となる施設】 道の駅新湊、道路情報館、備蓄庫</p>	



エリア内全域を『賑わい創出ゾーン』とし、それぞれのゾーンに求めるコンセプトに即した取組を進めることにより、エリア全体として賑わい創出の実現を図ります。

ゾーン	ゾーンに求めるコンセプト
食の魅力発信ゾーン	<p>●食べる</p> <p>【レストラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厨房も含めてレイアウトを大きく変更することで、これまでには無い、ゆったりと落ち着いた上質な空間を演出します。 ・射水産の海の幸・里山の幸にこだわった厳選メニューを提供することにより、射水の美味しいもの（『食の魅力』）との出会いを創出し、道の駅のファンを増やし、道の駅そのものが目的地となることを目指します。 <p>【フードコート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市外からの観光客のみならず、道路利用者や地元の人でも気軽に立ち寄ることができる施設として、地元食材を使用した軽食・スイーツ・飲み物などのカジュアルなメニューを提供し、集客力の向上を目指します。 ・物販スペースとの連携が高まるように動線やレイアウトを見直すことで回遊性を高めて、来訪者の滞在時間拡大に繋がります。 <p>●買う、楽しむ</p> <p>【物販スペース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の特産物の品揃えの充実とともに、ディスプレイの見直しなどにより満足度の高いサービスを提供します。 ・物販スペース内にテストマーケティングの場を提供し、地元事業者等による商品開発や販路拡大を支援します。 ・フードコートとの連携が高まるように動線やレイアウトを見直すことで回遊性を高めて、来訪者の滞在時間拡大に繋がります。 <p>●休憩する</p> <p>【休憩スペース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芝生広場など周囲の景観を内部空間に取り込み、開放感のある雰囲気の中で、快適に休憩を取ることができる環境を整備します。 <p>【トイレ／ベビールーム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレは、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮するとともに、清潔で気持ちの良い、落ち着いた空間となるよう整備します。 ・ベビールームは完全個室とし、プライベートに配慮した安心快適な空間を提供します。 <p>【電源供給設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、人気が高まっているキャンピングカー等での車中泊に対応するため、有料の電源供給設備の設置を検討します。

	<p>【芝生広場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅新湊と新湊博物館の間の動線を見直し、相互に連携を図ることができるレイアウトとします。また、新湊博物館の特徴的な外観を生かし、居心地の良い空間を創出します。 ・新湊博物館と駐車場との間を東西に隔てる排水路の一部を暗渠化するとともに、広場の動線を見直すことでスペースを確保し、新湊博物館と道の駅新湊の両施設が活用できる新たな賑わい空間としての活用を検討します。 <p>●知る（情報を得る）</p> <p>【観光情報スペース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物販スペースやフードコートからの視認性を高めることで、観光情報スペースへの人の流れを創出し、来訪者の射水ベイエリアへの誘導を図ります。 ・デジタルサイネージの設置やICTの活用を想定し、映像や多言語対応による観光情報等の提供を検討します。 <p>●賑わう</p> <p>【多目的キャノピー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに道の駅新湊の周囲にキャノピーを設置し、歩行者用通路の利便性・快適性を高めるとともに、屋根付きの全天候型スペースとすることで、キッチンカートの設置や地元食材を使ったマルシェ、アトラクションなどの多様なイベントを開催する賑わい創出の場として活用することを検討します。
<p>歴史文化発信ゾーン</p>	<p>●学ぶ、伝える</p> <p>【展示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より楽しく、興味を持って鑑賞してもらえ環境を整えるため、博物館展示資料等の充実を検討します。 ・建築後35年（令和15年）頃に予定されている大規模改修の際には、併せて常設展示の展示替えを行います。 <p>【芝生広場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新湊博物館と駐車場との間を南北に隔てている排水路の一部を暗渠化するとともに、広場の動線を見直すことで新たにスペースを確保します。 あわせて、測量庭園の機能を、来訪者の目に触れやすいこのスペースに移設することを検討します。 ・道の駅新湊の利用者を新湊博物館へ誘導するため、道の駅側からの視認性を高めます。
<p>新たな価値創造・チャレンジゾーン</p>	<p>●創造する、挑戦する</p> <p>【新湊農村環境改善センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賑わいと活力の創出の場に位置づけ、新たな役割を与えることを検討します。 一例としては、「買う・遊ぶ・体験する」などの多様なコンテンツが“雑居”することにより、来訪者に楽しい時間を過ごしてもらえる場とする、あるいは

	<p>は、6次産業化の推進や生産者の所得向上のため、生産団体等が経営する地場産品の直売所とする、又は、オフィスやワーキングスペースとして創業支援や異業種間交流の場とするなどが挙げられますが、その用途・機能及び管理運営形態については、民間活力の導入を目指しながら、引き続き検討していきます。</p> <p>・今後の施設の在り方検討の中で、必要に応じて、敷地の拡大も検討します。</p>
宿泊ゾーン	<p>●泊まる</p> <p>【宿泊施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリア内に宿泊施設を誘致することで、車で旅行を楽しむ層や訪日観光客の需要の取り込みを図ります。 ・宿泊客が道の駅新湊や新湊博物館を訪れることで、エリア内での滞在時間拡大に繋がります。 ・宿泊施設と近隣施設との相乗効果により、新たな賑わい創出を図ります。 ・周辺観光地へのアクセス性の高さや周囲を立山連峰、二上山、富山湾に囲まれた優れた眺望などを生かして、宿泊エリアとしての魅力を発信します。
防災拠点	<p>●命を守る</p> <p>【一般駐車場・大型駐車場／駐輪場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時には、市が県と連携し、救援物資（水、食料、生活必需物資等）の受入れ、管理、仕分け、搬出や積み替えを行う「輸送拠点施設」に位置付けられており、引き続き、防災拠点としての機能を維持します。 <p>【多目的キャノピー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅の周囲にキャノピーを設置し、屋根付きの全天候型スペースとします。災害時の支援物資の集配や人員の参集等を円滑に進めるために活用します。

【エリア全体】

- ・新湊農村環境改善センターの在り方検討の結果、敷地を拡大することとなった場合には、エリア全体の一体的利用や新たな賑わい機能創出の観点から、周辺道路、芝生広場及び新湊博物館駐車場のレイアウトを見直し、一部を屋根付き広場とすることを検討します。屋根付き広場は、全天候型の大型イベントスペースとして活用するとともに、地元食材を味わうことのできる店舗を道の駅のレストランやフードコートと競合しない形態で配置することを検討します。
- ・エリア内の回遊性を高めるため、芝生広場に道の駅新湊、新湊農村環境改善センター及び宿泊施設を結ぶ、屋根付き回廊の設置を検討します。

3 各ゾーン別活用例(イメージ)

前述した基本方針及び各ゾーンに求めるコンセプトに基づき、ゾーン別に今後の活用イメージを例示します。

各ゾーンの施設は、屋根のある回廊でつなぎ一体的に利用します。

(ア)食の魅力発信ゾーン

核となる施設

道の駅新湊

エリア全体配置の動線を考慮し、レストラン、物販スペース、フードコート、トイレなど、全面的なレイアウト変更を行います。

活用例(イメージ)

食の魅力発信ゾーン

- ・ 通り抜け通路 : 博物館への通り抜けができる動線を設け、今まで施設裏の印象のあった中庭や博物館との一体的な利用を促進し、エリア全体で明るい雰囲気醸し出します。
- ・ レストラン : 宿泊施設側に配置することで、宿泊施設との連携を促し、宿泊者への質の高いサービスの充実を図ります。
- ・ フードコート : 中庭への視認性を確保します。また、物販スペースと隣接して配置し、一般利用者が気軽に出入りできるよう配置します。
- ・ 物販スペース : 駐車場に面して配置します。
- ・ 観光情報スペース : フードコートや物販スペースからの視認性に配慮して配置します。
- ・ 多目的キャノピー : 道の駅新湊の周囲にキャノピーを設置し、屋根付きの全天候型スペースとします。

(ウ)新たな価値創造・チャレンジゾーン

核となる施設

新湊農村環境改善センター

新湊農村環境改善センターについては、新たな賑わいと活力の創出に資する場に位置づけ、新たな役割を与えます。その用途・機能及び管理運営形態については、民間活力の導入を目指しつつ、引き続き検討していきます。

<参考>施設に新たな役割を与えることで、新たな賑わいと活力の創出に繋げた先進事例

<p>【静岡県沼津市】</p> <p>INN THE PARK</p> 	<p>『少年自然の家をリノベーションした、複合宿泊施設』</p> <p>「泊まれる公園」として、少年自然の家を現代的にリノベーションし、自然を身近に感じながらより豊かな時間を過ごす施設として整備</p> <p>機能：ドームテント、宿泊棟、サロン、アウトドアダイニング、芝生広場等</p>
<p>【和歌山県田辺市】</p> <p>秋津野ガルテン</p> 	<p>『上秋津小学校をリノベーションした体験型グリーンツーリズム施設』</p> <p>上秋津小学校の旧校舎を再利用し、都市と農村地域の交流を楽しむための体験型グリーンツーリズム施設として整備</p> <p>機能：農家レストラン、宿泊、市民農園、農作業・お菓子作り体験、テレワークオフィス等</p>
<p>【新潟県南魚沼郡湯沢町】</p> <p>きら星BASE</p> 	<p>『中央保育園をリノベーションした交流拠点施設』</p> <p>旧中央保育園をリノベーションし、町民が自由に交流・活動できる、地域内、地域間交流の拠点となる施設として整備</p> <p>機能：コワーキングスペース、シェアオフィス、イベントスペース、シェア工房</p>

(エ) 宿泊ゾーン

核となる施設

宿泊施設（新規誘致）

宿泊施設の誘致にあたっては、市有地を原則とし、宿泊者用駐車場の確保や夜間の国道からの騒音等を考慮すると、現在の測量庭園の位置が有力な候補地であると考えます。

また、温浴施設に近い位置とすることで、宿泊施設と温浴施設との相乗効果が高まることを期待されます。



(オ)防災拠点

核となる施設	道の駅カモンパーク新湊 道路情報館、備蓄庫
--------	--------------------------

道の駅カモンパーク新湊は、第1次緊急通行確保路線の国道8号と国道472号の交差部に位置していることに加え、北陸自動車道小杉インターチェンジからのアクセスも良く、本市の輸送拠点施設に位置付けられていることから、災害時の後方支援拠点、支援活動場所として活用します。活用にあたっては、災害時の支援物資の集配や人員の参集等の円滑化を図るため、道の駅の周囲にキャノピーを接続し、屋根付きの全天候型スペースとすることを検討します。

また、平常時・災害時のいずれにおいても、様々な来訪者に対応した安全安心な施設となるよう、バリアフリー化の促進、ユニバーサルデザインの導入や子供連れ環境の整備を図ります。

IV 財源調達手法・事業手法の検討

1. 管理・運営の計画

(1) 事業手法

道の駅の整備・運営をするに当たって、想定される事業主体、事業スキーム及び補助制度等について整理します。

1) 整備・運営手法の検討

道の駅の整備・運営手法としては大きく分けて、公共が整備を行い、公共が管理・運営を行う「公設公営」方式、公共が整備を行い、民営が管理・運営を行う「公設民営」方式(指定管理など)、民間が整備・管理・運営を行う「民設民営」方式(PFIなど)があります。

整備手法については、設計、施工及び維持管理を分割発注する従来方式のほかにも、近年は多様な手法が用いられており、PPP(官民連携事業)も一般的な手法として検討されるようになってきています。なお、道の駅については、整備主体が地方自治体等に限定されるため、民間資金を活用するPFI方式を採用する場合は、BTO方式(Build Transfer and Operate)が主な手法であると考えますが、民間事業者へのサウンディングの実施も視野に入れつつ、様々な手法について検討していきます。

今後、道の駅新湊のリニューアル改修工事の基本設計の検討において、本構想で示した基本方針の実現に適した効果的・効率的な手法について、引き続き検討していきます。

<整備・運営手法の比較>

手 法	従来方式		PPP(官民連携事業)			
			DB方式 (Design Build)	DBO方式 (Design Build Operate)	PFI(BTO方式) (Build Transfer and Operate)	
概 要	・設計、施工、維持管理・運営を個別発注する方式 ・広義の官民連携事業として指定管理者制度がある		・設計と施工を一括して発注する方式 ・従来方式のような仕様発注ではなく、性能発注となる	・設計、施工と維持管理を包括して発注する方式	・民間が調達する資金で施設を整備し、施設整備事業者に管理運営を発注する方式 ・BTOは、施設完成とともに所有権が市に移管される方式	
資金調達	公 共		公 共	公 共	民間資金	
設計・建設	公 共		民 間	民 間	民 間	
管理運営	直 営	指定管理	直 営	指定管理	民 間	民 間
所有権	建設中	公 共	公 共	公 共	公 共	民 間
	運営中	公 共	公 共	公 共	公 共	公 共
	運営後	公 共	公 共	公 共	公 共	公 共

(2) 財源調達手法

施設整備に当たっては有利な財源の確保に努めます。

財源調達手法は、事業手法と密接に関連することから、施設整備に向けた設計等の検討段階において、事業手法と合わせて検討します。

<道の駅の整備に利用可能な補助制度等>

施設		
支援対象	支援メニュー	関係省庁
駐車場	直轄道路事業(交通安全)	国土交通省
	社会資本整備総合交付金(道路事業)	国土交通省
	都市構造再編集中支援事業 ※都市再生整備計画に基づき実施される事業のうち、道の駅に関連する部分の施設整備等	国土交通省
トイレ	直轄道路事業(交通安全)	国土交通省
	社会資本整備総合交付金(道路事業)	国土交通省
	都市構造再編集中支援事業 ※都市再生整備計画に基づき実施される事業のうち、道の駅に関連する部分の施設整備等	国土交通省
	「道の駅」インバウンド対応拠点化整備事業	国土交通省
子育て関連施設 (授乳室、ベビーコーナー等)	直轄道路事業(交通安全)	国土交通省
	社会資本整備総合交付金(道路事業)	国土交通省
	都市構造再編集中支援事業 ※都市再生整備計画に基づき実施される事業のうち、道の駅に関連する部分の施設整備等	国土交通省
	地域子育て支援拠点事業	内閣府・厚生労働省
	「道の駅」インバウンド対応拠点化整備事業	国土交通省
休憩施設	直轄道路事業(交通安全)	国土交通省
	社会資本整備総合交付金(道路事業)	国土交通省
	都市構造再編集中支援事業 ※都市再生整備計画に基づき実施される事業のうち、道の駅に関連する部分の施設整備等	国土交通省
道路情報提供施設	直轄道路事業(交通安全)	国土交通省
	社会資本整備総合交付金(道路事業)	国土交通省
観光案内所	都市構造再編集中支援事業 ※都市再生整備計画に基づき実施される事業のうち、道の駅に関連する部分の施設整備等	国土交通省
	「道の駅」インバウンド対応拠点化整備事業	国土交通省
交流施設	「小さな拠点」を核とした「ふるさと集落生活圏」形成推進事業 ※道の駅への公民館、診療所、保育所等の複数の生活機能の再編・集約及び施設整備	国土交通省
	都市構造再編集中支援事業 ※都市再生整備計画に基づき実施される事業のうち、道の駅に関連する部分の施設整備等	国土交通省
	過疎地域遊休施設再整備事業	総務省
	農山漁村活性化整備対策	農林水産省

体験施設	過疎地域遊休施設再整備事業	総務省
	農山漁村活性化整備対策	農林水産省
生産加工施設	過疎地域遊休施設再整備事業	総務省
	農山漁村活性化整備対策	農林水産省
	食料産業・6次産業化交付金	農林水産省
特産品直売所	「小さな拠点」を核とした 「ふるさと集落生活圏」形成推進事業 ※道の駅への公民館、診療所、保育所等の複数の生活機能の再編・集約及び施設整備	国土交通省
	地域経済循環創造事業交付金 ※民間事業者等の初期投資費用に対し支援	総務省
	農山漁村活性化整備対策	農林水産省
	食料産業・6次産業化交付金	農林水産省
レストラン (地場産品等を活用)	離島漁業再生支援交付金	農林水産省
	地域経済循環創造事業交付金 ※民間事業者等の初期投資費用に対し支援	総務省
防災設備 (簡易トイレ、防災倉庫等)	農山漁村活性化整備対策	農林水産省
	直轄道路事業(交通安全)	国土交通省
	社会資本整備総合交付金(道路事業)	国土交通省
	都市構造再編集中支援事業 ※都市再生整備計画に基づき実施される事業のうち、道の駅に関連する部分の施設整備等	国土交通省
	緊急防災・減災事業債(地方債)	総務省
感染症対策機器	訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業 (地方での消費拡大に向けたインバウンド対応支援事業) ※非常用電源装置等	観光庁
	訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業 (地方での消費拡大に向けたインバウンド対応支援事業)	観光庁
Wi-Fi	先進的なサイクリング環境整備事業 ※要件に該当するサイクリングルートにある道の駅を対象	国土交通省
	「道の駅」インバウンド対応拠点化整備事業	国土交通省
	公衆無線LAN環境整備支援事業	総務省
多言語やピクトサイン等 による案内	先進的なサイクリング環境整備事業 ※要件に該当するサイクリングルートにある道の駅を対象	国土交通省
	「道の駅」インバウンド対応拠点化整備事業	国土交通省
キャッシュレス決済用機材	「道の駅」インバウンド対応拠点化整備事業	国土交通省
パンフレット・ガイドマップ (多言語対応)	「道の駅」インバウンド対応拠点化整備事業 ※印刷費を除く	国土交通省
	広域周遊観光促進のための観光地域支援事業	国土交通省
多言語アプリ・多言語ホームページ	先進的なサイクリング環境整備事業 ※要件に該当するサイクリングルートにある道の駅を対象	国土交通省
	「道の駅」インバウンド対応拠点化整備事業	国土交通省
	広域周遊観光促進のための観光地域支援事業	国土交通省
都市公園施設 (駐車場、園路、広場等)	都市公園等事業(社会資本整備総合交付金)	国土交通省
ドローン物流設備 (機材及び設備の導入・改修)	過疎地域等における無人航空機を活用した物流実用化	国土交通省
再生可能エネルギー設備 (太陽光発電、蓄電池、地中熱冷暖房設備等)	地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する避難施設等への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業	環境省

サイクリスト受入環境設備(サイクルラック、手荷物用ロッカー整備等)	先進的なサイクリング環境整備事業 ※要件に該当するサイクリングルートにある道の駅を対象	国土交通省
水素ステーション	燃料電池自動車の普及促進に向けた水素ステーション整備事業費補助金	経済産業省
EV 充電設備	クリーンエネルギー自動車導入促進補助金	経済産業省
浄化槽	省エネ型浄化槽システム導入推進事業	環境省

道の駅周辺施設		
支援対象	支援メニュー	関係省庁
水辺整備 (河川管理用通路、階段護岸、親水護岸等)	「かわまちづくり」支援制度 都市水環境整備事業(直轄・交付金)	国土交通省
港湾施設 (浮桟橋、緑地等)	「みなとオアシス」制度 (「みなとオアシス」登録で社会資本整備総合交付金の重点配分)	国土交通省
水産業関連施設 (荷さばき、鮮度保持施設、種苗生産施設等)	浜の活力再生・成長促進交付金	農林水産省
サービスステーション (地下タンクの入替・大型化等)	災害時に備えた地域におけるエネルギー供給拠点の整備事業費	経済産業省

調査・設計・計画策定		
支援対象	支援メニュー	関係省庁
地域公共交通の確保・充実に に向けた計画の策定	地域公共交通確保維持改善事業	国土交通省
ドローン物流(計画策定)	過疎地域等における無人航空機を活用した物流実用化	国土交通省
民間の設備投資と一体的 に実施する基盤整備	官民連携基盤整備推進調査費	国土交通省
訪日外国人の誘客を目的 とする調査・戦略策定	広域周遊観光促進のための観光地域支援事業	国土交通省
6次産業化に向けた戦略の 策定	食料産業・6次産業化交付金	農林水産省
再生可能エネルギー設備 の導入に係る調査・計画策 定	地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する避難施設等への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業	環境省

商品開発・販路拡大等		
支援対象	支援メニュー	関係省庁
水産加工品の市場調査・商 談等旅費、コンサルティング 経費等	水産加工・物流構造改善促進事業	農林水産省
商品・サービス開発、販路 開拓、ブランド開発等	JAPAN ブランド育成支援等事業 ※中小企業を対象	経済産業省

その他支援		
支援対象	支援メニュー	関係省庁
道の駅への公民館、診療所、保育所等の複数の生活機能の再編・集約及び施設整備	「小さな拠点」を核とした「ふるさと集落生活圏」形成推進事業	国土交通省
都市再生整備計画に基づき実施される事業のうち、道の駅に関連する部分の施設整備等（緑地、広場、地域防災施設、観光交流センター等）	都市構造再編集集中支援事業	国土交通省
みなとの振興に関する各種支援（魅力の発信等）	みなとオアシス制度	国土交通省
地方版総合戦略に基づく地方公共団体の先導的な取組	地方創生推進交付金	内閣府
地方子育て支援拠点施設の運営費補助	地域子育て支援拠点事業	内閣府・厚生労働省
木造建築物の建築	木材製品の消費拡大対策	農林水産省
	木材産業・木造建築活性化対策	農林水産省

V 事業スケジュール

1. 施設別の事業スケジュール

既存施設の事業スケジュールは、射水市公共施設個別施設計画の中で示した実施時期に基づいて進めていきます。

宿泊施設については、道の駅新湊のリニューアル改修が完了する令和7年頃までの開業を目指し、誘致に取り組んでいきます。

また、今後、各施設の検討の中で、事業内容や進捗状況を勘案しつつ、エリア内全体の外構部分の大幅なレイアウトの見直し・改修工事について検討していきます。

なお、今後の検討の中で、事業スケジュールが変動する場合があります。

◎施設別事業スケジュール (射水市公共施設個別施設計画から引用)

【施設概要の凡例】

- ・経過年数：令和3年4月1日時点の経過年数
- ・構造：S（鉄骨造） RC（鉄筋コンクリート造） SRC（鉄骨鉄筋コンクリート造） W（木造）
- ・耐用年数：「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和40年大蔵省令第15号）で、構造や用途によって定められている耐用年数に基づき市の固定資産台帳に記載したもの

No.	施設名	施設概要		実施時期 年度	短期					
					R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	
1	道の駅新湊	建築年度	平成10 (1998)	経過年数						
		改修年度	—	取組内容	エリア構想 策定	基本設計・実施設計・大規模改修				
		経過年数	23							
	構造/ 耐用年数	S/34年								
湊濱・観光課	延床面積	978.96㎡	概算事業費	344百万円						
2	新湊農村環境 改善センター	建築年度	平成8 (1996)	経過年数						
		改修年度	—	取組内容	エリア構想 策定					
		経過年数	25							
	構造/ 耐用年数	RC/47年								
農林水産課	延床面積	951.53㎡	概算事業費							
3	新湊博物館	建築年度	平成10 (1998)	経過年数						
		改修年度	—	取組内容	エリア構想 策定	屋上防水改修 二酸化炭素消火設備更新 空調機・冷温水発生器修繕 等				
		経過年数	23							
	構造/ 耐用年数	RC/50年								
生涯学習・スポーツ課	延床面積	1,993.60㎡	概算事業費	103百万円						

注：各工事等の実施時期や内容は、現在想定される目安であり、今後の社会経済情勢等の変化や総合計画等の見直し等により、大きく変動する可能性があります。また、概算事業費は、同種工事の直近の単価等を基に機械的に試算したものであり、財政見直し等との整合を図ったものではありません。

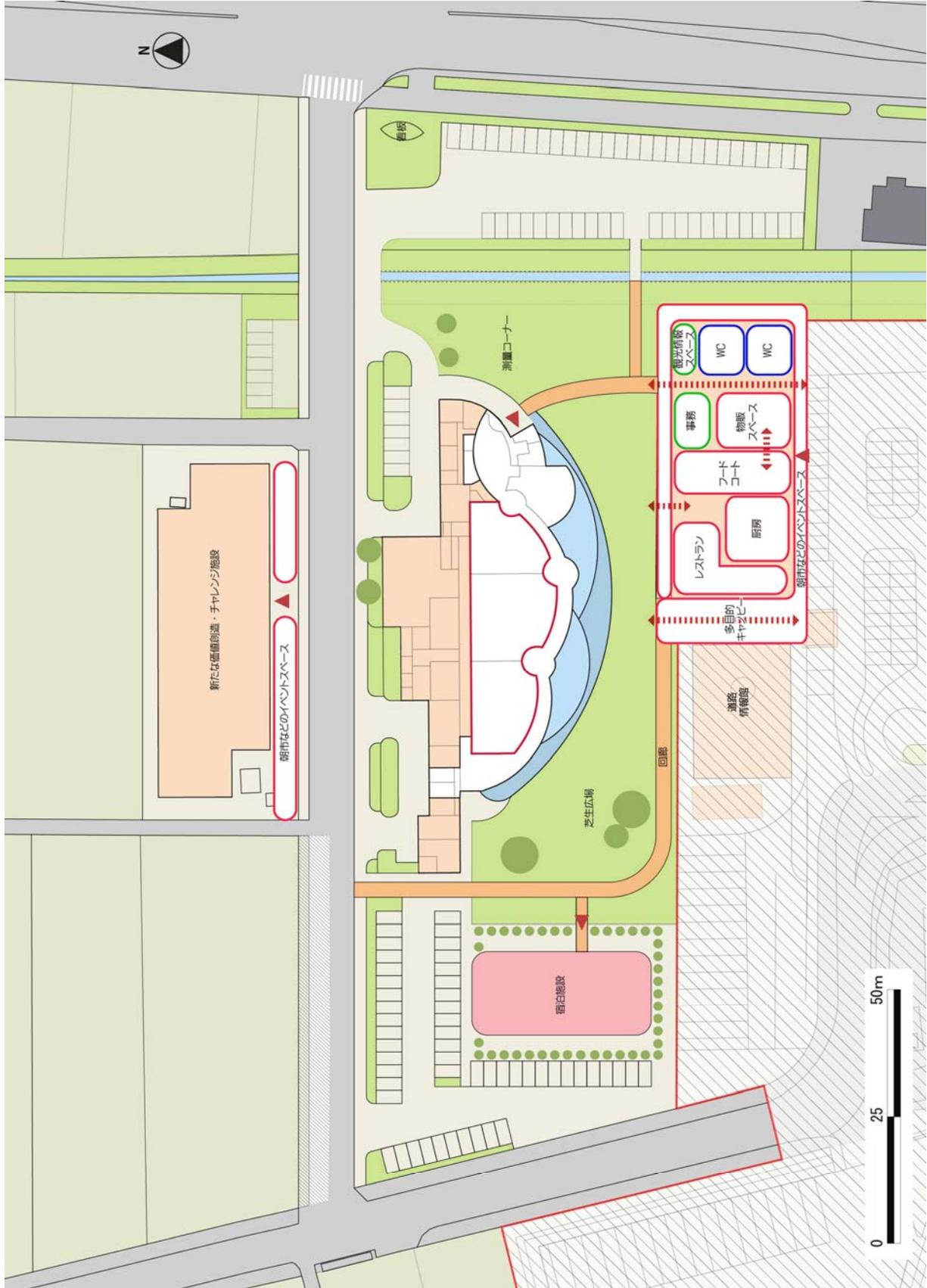
中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
		築後30年				耐用年数		大規模改修に当たっては、エリア全体の魅力向上に資するよう留意する。
築後30年			民間参入の可能性を含めた 在り方検討			・譲渡・売却又は廃止 ・大規模改修し、存続 (大規模改修の場合は令和13年度を目途 に実施：概算事業費 255百万円)		指定管理者の更新時期を考慮しながら、令和10年度から令和12年度までを目途に施設の在り方を検討し、その後の方向性を決定する。ただし、エリア構想の方向性によって実施時期が変更となる可能性がある。
		築後30年						令和3年度以降は、施設の保全に必要な箇所に限った改修。建築後35年頃を目途に大規模改修工事を実施し、併せて常設展示の展示替えを行う。
					実施設計・大規模改修			
					960百万円			

VI 参考

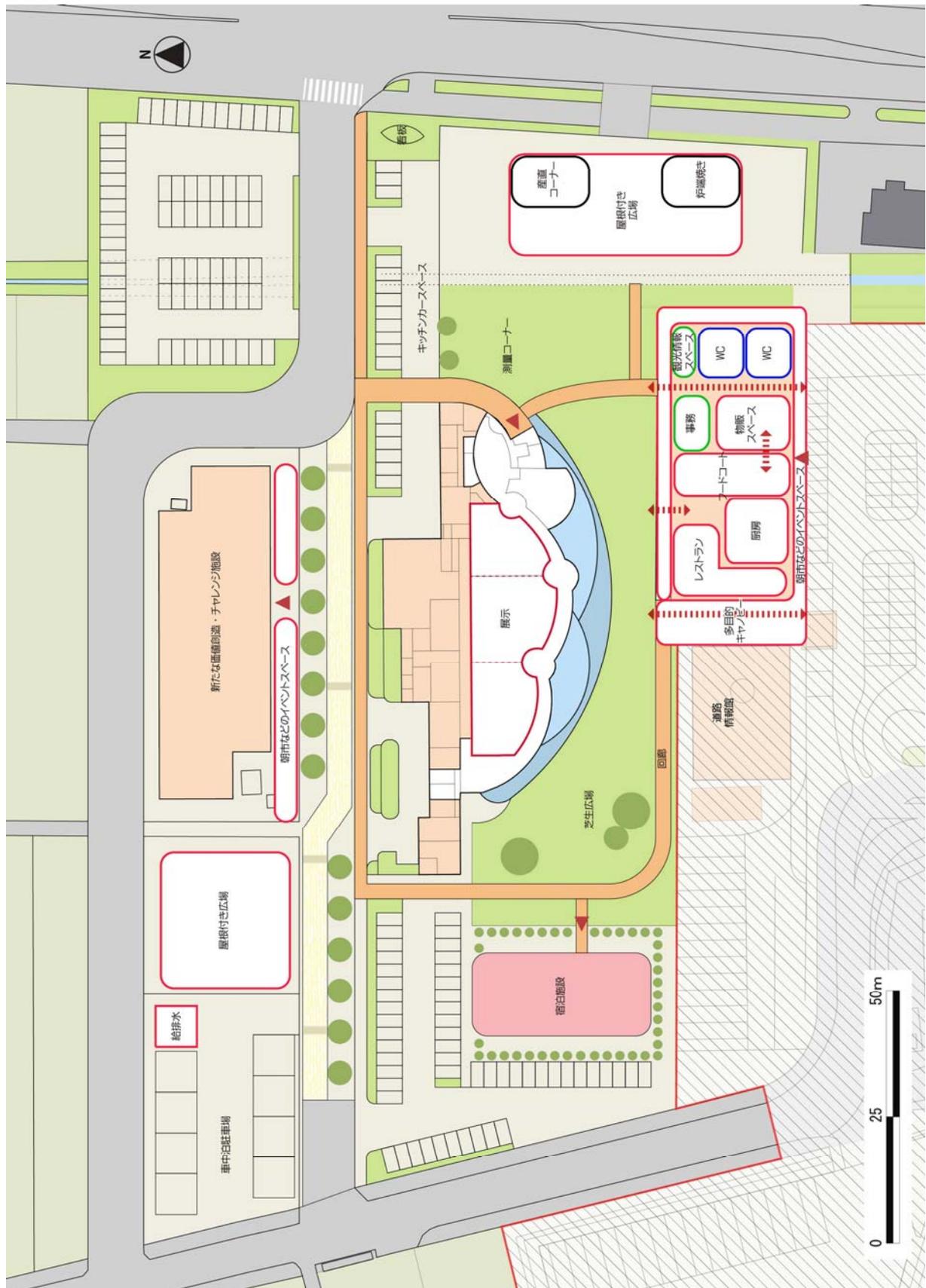
1. 現状(エリア全体図)



2. 整備1（エリア全体図）イメージ



3. 整備2（エリア全体図）イメージ



4. イメージパース 現状(エリア全体図)



整備1(エリア全体図)



整備2(エリア全体図)



整備2 (鳥瞰1)



整備2(鳥瞰2)



整備2(鳥瞰3)



整備2(アイレベル1)



整備2(アイレベル2)

